

平成21年度 第2回公立雲南総合病院 改革プラン評価委員会開催報告

3月24日、標記評価委員会を開催しましたので概要を報告します。この委員会は、総務省が提示した「公立病院改革ガイドライン」に基づき作成した「改革プラン（当院ではステップアッププランと命名）」の進捗状況の検証及び評価をする組織で、年2回開催することとしています。当院の評価委員会は、外部の有識者8名（医療関係、住民代表、行政）で構成しており、委員長には島根大学医学部熊倉教授に、副委員長には雲南医師会を代表して本永瀬医院の永瀬先生にご就任いただいております。

委員会では、事務局からのプラン進捗状況の報告に対し、各委員から、保健事業に対する今後の方向性、現在行っている医師・看護師等の医療職を育てる取り組みの継続、プランを遂行する上で、短期的・長期的な視点等で整理して取り組むべきことなど、貴重なご意見を多数いただきました。

今後、いただいた意見を基に、修正を図りながら、プランに沿った病院運営に努めていきたいと考えております。
※総務省によるガイドラインでは、3年計画による経営改革を総合的に盛り込んだ改革プランの策定が求められており、当院でも昨年3月に作成しました。



春季高校生医療現場体験セミナー開催



平成21年度第2回目の「高校生医療現場体験セミナー」を、県東部の高校7校から38名の参加の下、3月29日（月）に開催しました。このセミナーは将来、医師、看護師を始めとする医療職を目指す学生を増やすことを目的に、年2回春休みと夏休みの期間を利用して開催しています。セミナーでは、医師志望、看護師志望、医療技術系志望等、将来目指したい職種が体験できるコースを設定し、その職種を体験することでより認識を深められるようにしました。また、雲南消防本部にご協力いただき、AEDの操作や心肺蘇生法の講習も行いました。

参加した生徒からは、将来の進路に向けて大変参考になった、なりたい職種の認識が更に深まった、医師、看護師になりたいと思う気持ちがより強くなった、とても丁寧に教えてもらってよかった等、大変好評でした。

将来、今回参加した学生の中から、医療に携わる仕事に就いて、地域医療を守ってってくれる子が多く育ってくれることを期待しています。

平成22年度 公立雲南総合病院組合 事業会計予算の概要

業務の予定量

1 病院事業

(1)病床数 283床
 一般199床(うち12床亜急性期)
 精神50床(一時的閉鎖)・
 回復期リハビリ30床・感染症4床

(2)患者数 入院 68,620人
 1日平均患者数 188.0人
 外来 102,480人
 1日平均患者数 420.0人

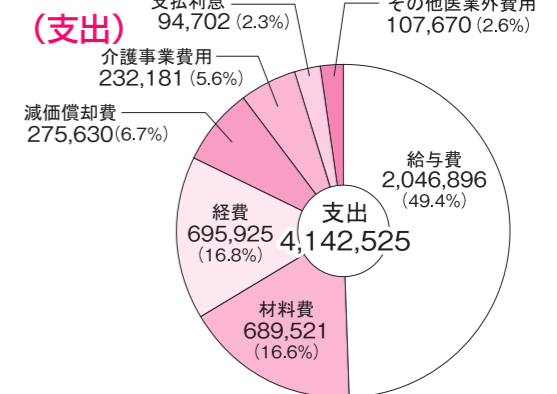
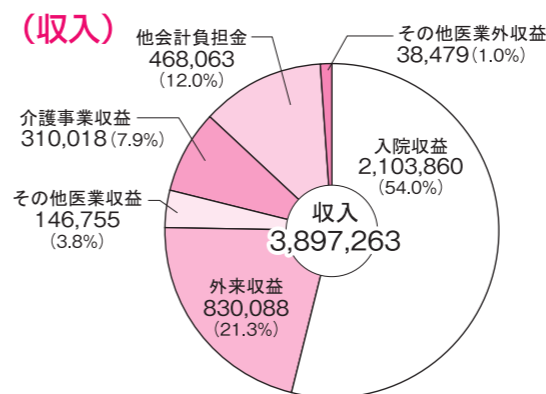
2 介護事業

(1)訪問看護事業
 延利用者数 5,668人
 ※訪問リハビリ事業含む

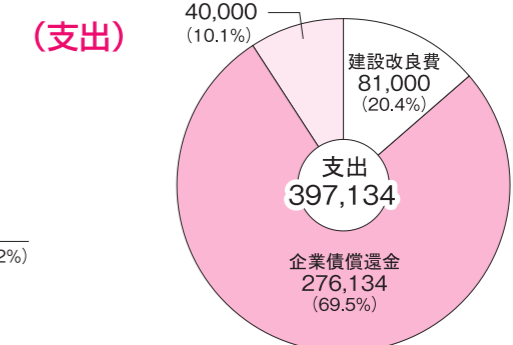
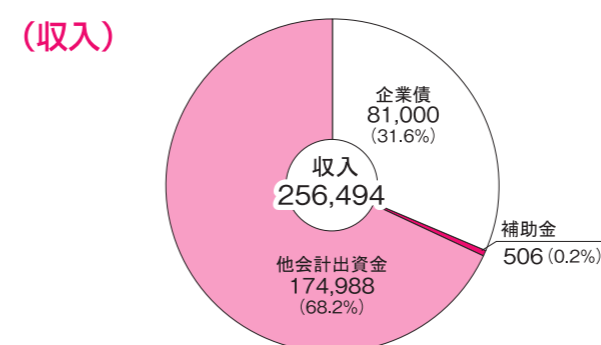
(2)訪問介護事業
 延利用者数 2,326人

(3)療養病床事業
 ①病床数 48床
 【療養(介護型)】
 ②延患者数 16,060人
 ③1日平均患者数 44.0人

収益的収支 (消費税込、単位：千円)



資本的収支 (消費税込、単位：千円)



※資本的収支不足額140,640千円は内部留保資金で補てんします。

※一般会計からの繰入れは収益的収入と資本的収入の合計で643,051千円の予定となっています。